学校番号	3006

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新日本史Ａ　新訂版」（実教出版）						
副教材等	「日本史のアーカイブ」（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を忘れない。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情にも触れつつ、現在の日本のあり方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、基礎的事項を理解・記憶したうえでの歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・就職活動で取り上げられる「一般常識」問題にも対応できるようにする

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から現代までの歴史を捉えつつ、近現代史を中心に、関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、古代から現代の国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。	古代から学び、近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表などへのまとめを行なう。	古代から学び、近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付ける。
評価方法	授業プリントでのアンケート・発言 自ら考え意見をまとめる作業など	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	日本の歩みを振り返ろう	・旧石器～縄文～弥生 ・日本の古代国家 ・平安・鎌倉・室町時代 ・戦国時代 ・江戸時代(前中期)	○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:授業プリントなどを用いて、古代中世の日本の歴史に関心を持つ。現代史につながるよう、地理的な知識も踏まえ、身につける。 b:考察を表現する c:収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント 発言
一学期期末	近代日本の形成と19世紀 明治維新と近代国家	・江戸時代後期・幕末 ・明治・中央集権・殖産興業 ・明治初期外交	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 授業プリントなどを用いて、幕末明治の日本の歴史に関心を持つ。天皇を中心とする統一的な国家体制がどのように整備されていたったか、基本的知識を身につける。現代史につながるよう、地理的な知識も踏まえ、身につける。 b:考察を表現する c:収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント アンケート 発言
二学期中間	立憲国家の成立 日清・日露戦争	・自由民権運動 ・大日本帝国憲法 ・日清戦争 ・日露戦争 ・産業革命 ・アジアの国々	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:明治中期以降の、大日本帝国憲法制定と日清戦争・日露戦争を中心に、基本的な知識を身につけ、その上で、世界の中での日本とアジアとの関係を理解する。 b:考察を表現する c:収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント アンケート 発言

二学期期末	第二次大戦と日本	・第一次世界大戦と戦後世界 ・世界恐慌 ・満州事変・日中戦争 ・第二次世界大戦・太平洋戦争	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 第一次世界大戦・その後の国際協調やアジアの民族自決・世界恐慌と昭和恐慌・ファシズム化・日中戦争の拡大・太平洋戦争（第二次世界大戦）という時代の流れを理解する。とくにこの時代は、日本と大陸との関係を、欧米列強との関係も踏まえて追求し、なぜ大戦争への道を歩んでしまったのかを考察する。 b:考察を表現する c:収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント アンケート 発言
三学期 学年末	戦後の政治と社会 経済国家としての発展	・戦後と冷戦構造 ・高度経済成長 ・近隣外交 ・現代社会へ	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:終戦に至る流れと終戦後の国際情勢のなか、日本がどのような方向で戦後を歩みだしたのかを理解する。日本国憲法と民主化について、基本的な知識を身につける。東西冷戦と朝鮮戦争、それが生み出した日米安保体制を理解する。高度経済成長と公害などの社会問題を探求する。バブル経済やバブル後の日本経済の動きや、現在進んでいるグローバル化の意味を学び、世界の中で日本が国内外で抱えている課題や果たすべき役割について考える。 b:考察を表現する c:収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント アンケート 発言

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。